

サイファイ研究所主催

<http://science-he.blogspot.jp/>

第3回 カフェフィロPAWL 「エピクテトスの人生と哲学」

講師：矢倉英隆（サイファイ研究所）

日時：2016年3月8日（火）、午後6時20分～午後8時

会場：カルフルC会議室

東京都渋谷区恵比寿 4-6-1 恵比寿 MFビル B1

電話：03-3445-5223

<http://ebisu-carrefour.com/>



参加費

一般：1,500円（コーヒー/紅茶が付きます）

学生：無料（飲み物代は別になります）

終了後、参加者の懇親を兼ねた会を予定しています。
参加を希望される方は、she.yakura@gmail.com までお知らせください。

講師の紹介と挨拶



講師：矢倉 英隆

HP：パリの哲学的生活 (<http://hidetakayakura.blogspot.com/>)

2007年、東京都医学研究機構（現東京都医学総合研究所）で免疫学の研究生生活を終える

2007年～2015年、パリ大学大学院で科学と医学の哲学を学ぶ

2011年、科学から人間を考える試みとして[サイファイ・カフェSHE](#)を始める

2012年、雑誌「医学のあゆみ」の連載エッセイ『[パリから見えるこの世界](#)』を開始

2013年、[サイファイ研究所](#)を設立（科学と哲学の普及、科学の成果の哲学的研究、「生き方としての哲学」の研究、人間存在の理解、そして自らの変容を目指している）

2014年、生き方としての哲学を語り合う[カフェフィロPAWL](#)を始める

2016年、新たに[サイファイ・カフェSHE 札幌](#)を始める

昨年はパリの新聞社の襲撃に始まり、パリの一般市民を狙ったテロで終わりました。同様のテロは世界各地で行われています。21世紀はわれわれの日常に戦争が入り込む時代になる予感がします。換言すれば、いつどこで死が訪れるか分からない時代ということになります。しかし、それはこの生が持つ本来の特質ではないでしょうか。その中で、われわれはどう生きればよいのでしょうか。死が意識される時、人類が蓄積してきた生き方に関わる哲学が目に入ってきます。カフェフィロPAWLでは長い間劣勢にあった「生き方としての哲学」を展開した哲学者の歩みを振り返りながら、そこで問題にされたテーマをわれわれ自身に引き付けて考え、語り合うことを中心に据えています。このような営みの中で、人間存在そのものに対する理解を深め、われわれの生き方に新しい風を吹き込み、自らが深化、変容することができれば素晴らしいと考えています。

今回は、古代ギリシャの哲学者エピクテトス（c. 55 - c. 135）を取り上げます。奴隷から身を起した彼は著作を残してはいませんが、弟子のアッリアノスが『人生談義』（全2冊、岩波書店）として師の言葉を記録しています。ローマ皇帝マルクス・アウレリウス（121-180）に引き継がれ、パスカル（1623-1662）も論じた哲学の大きな枠組みを講師が30分ほど話した後、約1時間に亘って参加者の皆様に考えを展開していただき、懇親会においても継続する予定です。興味をお持ちの方の参加をお待ちしています。